

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

1 項 商業費

2 目 商業振興費

経済通商総室（内線：7658）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
【経済成長戦略】(新)まちなかスローライフ商業活性化事業	14,781	0	14,781				14,781	
トータルコスト	19,622千円（前年度0千円） [正職員：0.6人]							
主な業務内容	意識啓発、補助金・プロデューサー派遣による採択事業支援							
工程表の政策目標(指標)	市町村等と連携した商業・サービス業の活性化							

説明

1 事業の概要

商業者グループ等が行う「まちなか資源」を活用した時間消費型サービス提供（まちなかスローライフ）のモデル支援を通して、来街者ニーズへの対応と個店・商業エリアの魅力向上（居場所づくり）を目指す。

※「まちなかスローライフ」

まちなかにある魅力的な歴史・文化・伝統・食など、地域資源を活用した時間消費型サービスの提供や空間づくりにより、来街者がまちなかで憩い、やすらぎ、満足感のある心豊かな時間を過ごすこと

〔背景〕

県内のまちなかには、大都市圏や郊外店とは異なる魅力的な資源が存在するが、商業面での活用による来街者ニーズへの対応や商業エリアとしての魅力発揮が不十分。

（商業関係者の声）

- ・ まちに魅力がなければ外からも人は来ない。人・街・自然の魅力等が人の交流を導き出す。
- ・ 顧客・来街者の真のニーズを把握できていない店が多い。マーケティングが重要であり、鍵となる。
- ・ 既存店や団体が手を組んだ「商いの付加価値が向上する取組」の支援が効果的。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	事業概要	予算額
1 普及セミナー	県民のスローライフに対する理解を深め、まちなかにおける時間消費型サービスの可能性を明らかにするセミナーの開催	300
2 モデル事業支援	(1) モデルの公募・選定	71
	(2) まちなかプロデューサーの登録・派遣	2,410
	(3) 計画策定・マーケティング調査補助	3,000
	(4) 事業費補助	9,000
計		14,781

※補助金の対象期間は最長24ヵ月（債務負担行為設定）

3 これまでの取組状況

(1) 元気な商店創出事業（H18～21）

- ・ 消費者モニター調査（H18）、個店の魅力向上勉強会（H19）や個店連携勉強会（H20）などを通して、個店や商業エリアの魅力向上の必要性を意識啓発。
 <実施箇所 鳥取市・倉吉市・米子市>

(2) まちなかビジネス創出支援事業（H21～）

- ・ 創業支援機関（ビジネスインキュベータ）と創業支援人材（店舗プロデュース等を実施）の連携によるまちなかでの成功事例づくり（創業）と、県内での普及を目指す。
 <H21採択件数 4件（予定）>